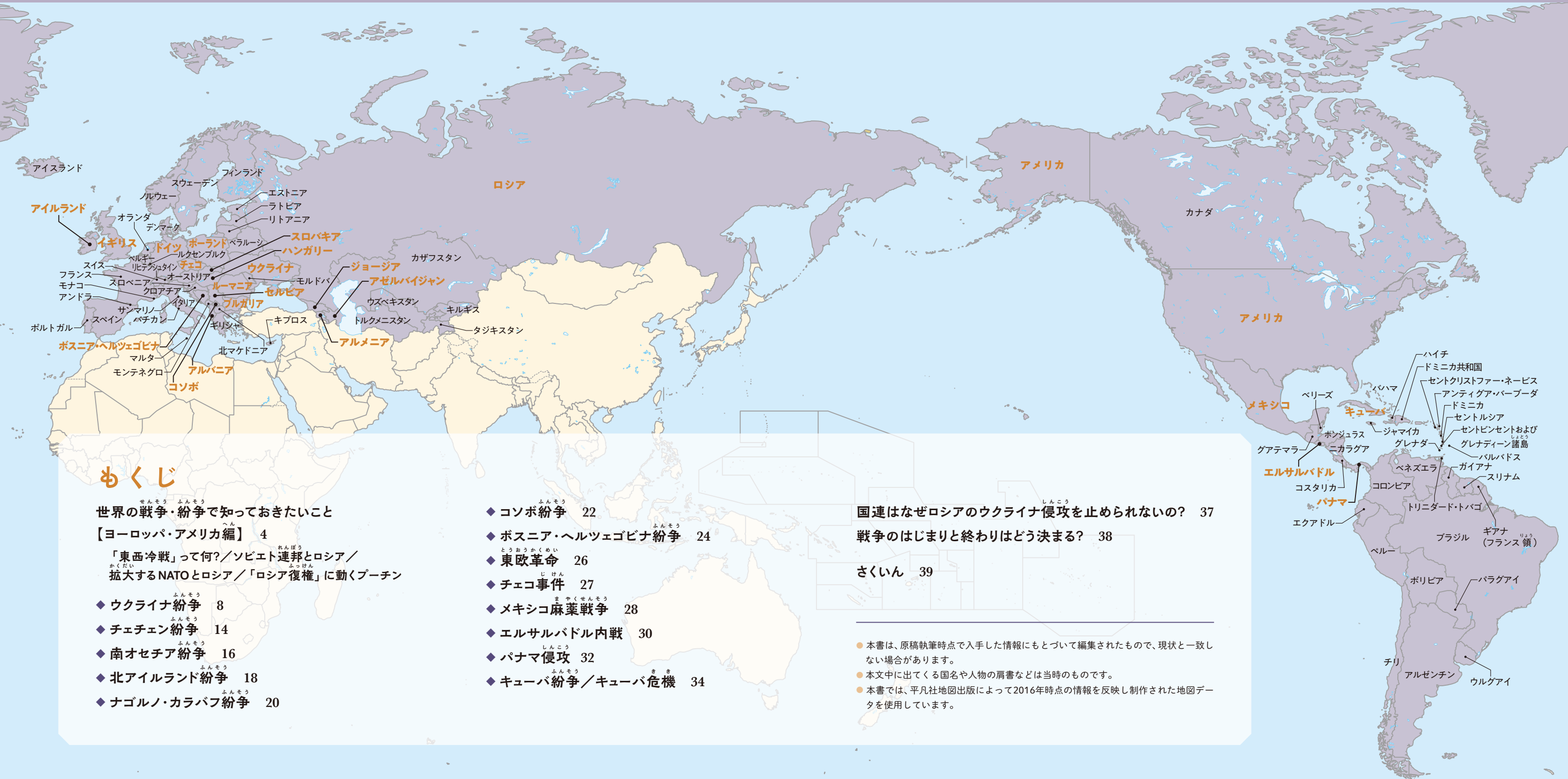


# 地図でわかる 世界の戦争・紛争

## 1 ヨーロッパ・アメリカ

～ウクライナ紛争、キューバ危機ほか



### もくじ

世界の戦争・紛争で知っておきたいこと

【ヨーロッパ・アメリカ編】 4

「東西冷戦」って何? / ソビエト連邦とロシア / 拡大するNATOとロシア / 「ロシア復権」に動くプーチン

- ◆ ウクライナ紛争 8
- ◆ チェチェン紛争 14
- ◆ 南オセチア紛争 16
- ◆ 北アイルランド紛争 18
- ◆ ナゴルノ・カラバフ紛争 20

- ◆ コソボ紛争 22
- ◆ ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争 24
- ◆ 東欧革命 26
- ◆ チェコ事件 27
- ◆ メキシコ麻薬戦争 28
- ◆ エルサルバドル内戦 30
- ◆ パナマ侵攻 32
- ◆ キューバ紛争 / キューバ危機 34

国連はなぜロシアのウクライナ侵攻を止められないの? 37

戦争のはじまりと終わりはどう決まる? 38

さくいん 39

- 本書は、原稿執筆時点で入手した情報にもとづいて編集されたもので、現状と一致しない場合があります。
- 本文中に出てくる国名や人物の肩書などは当時のものです。
- 本書では、平凡社地図出版によって2016年時点の情報を反映し制作された地図データを使用しています。

# 世界の戦争・紛争で 知っておきたいこと

ふんそう

ヨーロッパ・  
アメリカ編

## 「東西冷戦」って何？

第2次世界大戦後、世界では、アメリカを中心にイギリスやフランスなど西ヨーロッパ諸国が資本主義・自由主義政策を取り、ソビエト連邦(ソ連、現ロシア)を中心にポーランド、チェコスロバキアなど東ヨーロッパ諸国が共産主義・社会主義政策を取り、両陣営が東西に分かれて対立していました。さらに、ドイツは東西に分裂し、1949年に資本主義(西側)陣営の西ドイツ(ドイツ連邦共和国)と社会主義(東側)陣営の東ドイツ(ドイツ民主共和国)が生まれました。

このように、戦後40年以上にわたり、資本主義の国ぐにと社会主義の国ぐにとのあいだでくり広げられた対立を「冷戦(東西冷戦)」といいます。冷戦とは「冷たい戦争」という意味で、武力を用いない対立関係のことです。アジアでも、日

本が西側陣営、中国が東側陣営につき、朝鮮半島やベトナムが分裂するなど、東西冷戦の影響は少なくありませんでした。

東西冷戦によって、ヨーロッパでは、西側陣営の軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)と東側陣営の軍事同盟であるワルシャワ条約機構が対立し、長年にわたって緊張関係がつづきます。アフリカでも、両陣営の支援を受けた国同士での戦争がたびたび起こりました。しかし、1980年代に入り、アメリカとソ連は、ふくらみつづける軍事費によって財政難におちいります。さらに東欧革命(26ページ)などで、社会主義体制が次々と崩壊した結果、1989年のマルタ会談で、アメリカとソ連により冷戦の終結が宣言されました。

### ▶ 東西冷戦

NATO発足時(1949年)の加盟国	
ベルギー	ルクセンブルク
カナダ	オランダ
デンマーク	ノルウェー
フランス	ポルトガル
アイスランド	イギリス
イタリア	アメリカ

ワルシャワ条約機構発足時(1955年)の加盟国	
ソビエト連邦	東ドイツ
アルバニア	ポーランド
ブルガリア	ルーマニア
ハンガリー	チェコスロバキア

## ソビエト連邦とロシア

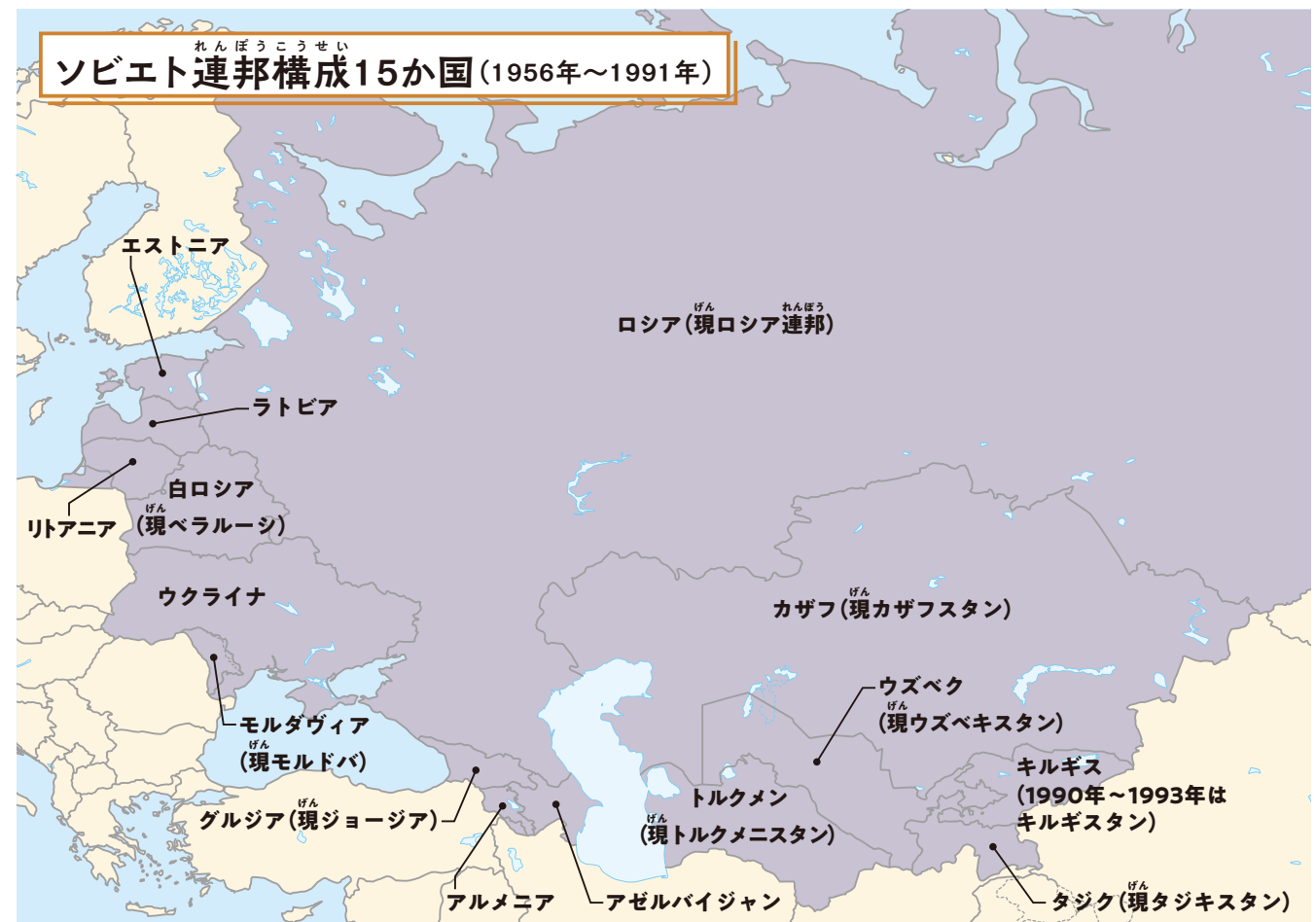
れんぽう

ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)は、ロシアを中心に、ウクライナや白ロシア(後のベラルーシ)、ザカフカース(後のグルジア・アゼルバイジャン・アルメニア)という4つの共和国が1922年に結成した連邦国家です。

ソ連では、経済の自由や利益を求めることから生じる資本主義の矛盾を解決し、働く人を中心とした平等な社会の建設をめざす、社会主義による国づくりをめざしました。

その後、ロシアを中心に15の共和国で構成されるようになり、世界の社会主義陣営の中心となる巨大な連邦国家となります。

そして、ソ連に支援された東側陣営の国ぐには、アメリカを中心とする西側陣営の国ぐにと対立します。しかし、東側陣営の国ぐには、そのかかげる理想とほうらはらに、社会の平等が実現されず、人々の自由や人権が抑圧されることも少なくなく、経済的な発展もどこおりがちでした。その結果、東側陣営のポーランドなどで社会主義体制が倒れ(東欧革命)、東ドイツが西ドイツに編入されるかたちでドイツが再統一されます。ソ連も大統領制を導入しますが、1991年に現在のロシア連邦をはじめとする15の国に分裂しました。



# ウクライナ紛争

## ウクライナとその周辺国



1991年にソ連が崩壊すると、ウクライナは独立を果たしました。しかし、国内では、親欧米派の住民と、親ロシア派の住民が対立していました。こうしたなか、2014年にロシアがウクライナのクリミア半島を併合します。また、ウクライナ東部では、ウクライナ政府軍と親ロシア派武装勢力との対立が激しくなります。両者は2020年7月に停戦に合意しますが、約1年半後の2022年2月24日、ロシア軍がウクライナへの軍事侵攻を開始しました。

### 年代

●2014年～

### 当事国

ウクライナ  
ロシア

## 兄弟国家であるロシアとウクライナ

第2次世界大戦後の東西冷戦で、東側陣営のリーダーとしてアメリカや西ヨーロッパの国ぐにと対立したのがソ連です。ソ連は単一の国家ではなく、15の共和国が集まった連邦国家でした(5ページ)。そのひとつであるウクライナは、ソ連を構成する共和国のなかでも、とくに経済的に発展した国であり、歴史的にも民族的にも、ソ連の中心であるロシアとは兄弟のような関係でした。

1991年にソ連が崩壊し、新たにロシア連邦が発足するのに合わせ、ウクライナも独立を宣言します。その後もウクライナでは、親ロシア派政権が国のかじ取りを行いました。



ソ連を解体し、新たな独立国家共同体を結成する合意文書に署名するロシア共和国のエリツィン大統領(1991年)  
(写真:朝日新聞社/Cynet Photo)

## くり返される国内での対立

### ウクライナ地域別・ロシア語をおもに話す人の割合



(ウクライナの2001年国勢調査より作成)

ウクライナ国内では、独立以来、親欧米派の住民と親ロシア派の住民とのあいだでの対立がつついていました。とくに、ロシアと国境を接する東部地域や南部のクリミア半島には、親ロシア派の住民が多く暮らしており、ロシアとの併合を求める彼らとウクライナ政府とのあいだで、激しい衝突がくり返されました。

一方で、ウクライナでは、2004年からの民主化運動で親欧米派の大統領が誕生し、これに反発して2010年には親ロシア派の大統領が政権に返り咲くなど、政治的な混戦がつつづきます。こうしたなか、ロシアは、ウクライナ東部の親ロシア派武装勢力への支援をつづけ、その影響力を維持していました。